

令和7(2025)年2月

士別市長 渡 辺 英 次

「市長への手紙(メール)」の回答について

拝 啓

軽暖の候 貴方におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申しあげますとともに、日頃より市政の推進に深いご理解を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、この度「市長への手紙」で、「公共施設マネジメント・事業アセス事項」に関する貴重なご意見をいただきました。

ぷらっとは、民間銭湯の廃止に伴い、市民の衛生保持に必要な入浴機会の確保を目的に設置した経緯があります。

現在、自宅に入浴設備がある方がほとんどであり、美し乃湯や翠月などの入浴施設もあることから、市民の衛生保持の面では、その役割を果たしたと考えています。

ぷらっとの廃止に伴い、これまで利用していただいた市民のみなさまにつきましては、ご自宅の浴室を使用していただくか、市内にある美し乃湯や翠月などの入浴施設の利用をお願いしたいと思います。

また、自宅に入浴設備がない市民への支援として、入浴環境整備に関わる制度や入浴施設への移動に関わる制度の紹介、入浴料に関わる経過措置等について検討する考えです。

高齢者等入浴料助成事業は合併前の旧朝日町において、自宅に入浴設備がない方や生活に困窮している方を対象に、公衆衛生環境の確保と生活困窮者の支援の両面から創設された経緯があります。

合併後においても継続事業として実施され、現在は朝日地区の「和が舎」、中央地区の「ぷらっと」、多寄地区の「日向温泉」の3施設を対象施設として実施しています。

事業開始から10年以上が経過し、時代の変化から高齢者等の生活環境・住環境も変化してきており、事業のあり方について検討してきました。

利用登録者を対象としたアンケート及びその後の追跡調査で、ご自宅に入浴設備を備えていないといった公衆衛生環境確保の課題はほぼ解消されたものと考えています。

また、生活困窮者支援では、利用実態から利用者間で公平性に欠けた状況が見受けられるほか、生活困窮者の支援として実態に乖離が生じている状況にあることから、

これらを総合的に判断し、「ぷらっと」と同時期に廃止する考えとしました。

先に述べた利用登録者アンケートでは、本事業の利用目的を「広い風呂やサウナを利用したい」、「人と話す機会、外出する機会を増やしたい」といったご意見を多くいただきました。本事業廃止後は入浴料金の助成はなくなりますが、引き続き「和が舎」、「日向温泉」のほか、「翠月」や「美し乃湯温泉」もご利用いただけますと幸いです。

人口減少が進むなかで、まちの魅力と活力を保ち、まちづくりを着実に進めて行くためには、将来を見据えた持続的な財政運営が必要であり、公共施設の最適化と事務事業の見直しを進めることが重要不可欠です。

公共施設マネジメント・事業アセス事項については、関係機関や団体との協議や市民のみなさまからの意見などをいただくなかで、本市財政状況等も踏まえ、総合的に検討してまいりますので、ご理解の程お願い申し上げます。

今後とも、士別をより「住みよく」「安心」できるまちにするためのご意見やご提言をお寄せください。

貴方のご健勝を心から祈念申し上げ、「市長への手紙（メール）」の回答といたします。

敬 具

・担当課

健康福祉部 高齢者福祉課 いきいき健康センター  
士別市西2条3丁目1924番地 電話26-7778（直通）

・広聴担当課

市民部くらし安全課  
士別市東6条4丁目 電話26-7736（直通）